

材料

- アクリルファイバー・アクレーヌ 30g パック
白 (H440-030-101)1 袋
- アクレーヌ 10色セット (H441-142-4)1 袋
※オレンジ (116)・緑 (121) のみ使用

用具

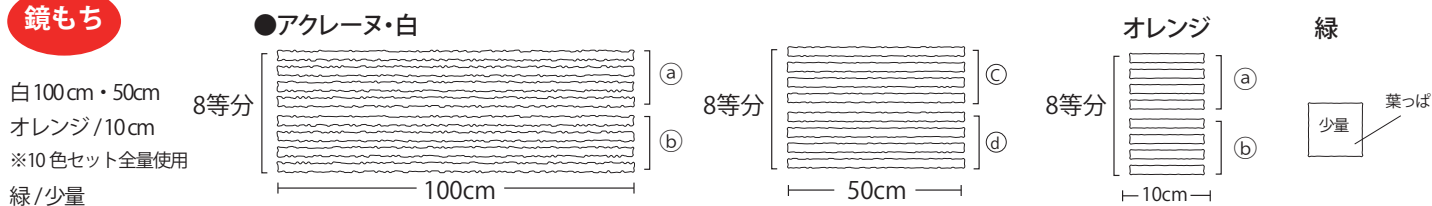
- くるくるボンボン 直径 3.5cm/7cm/9cm (H204-550)
- フェルティング用ニードルレギュラー (1本タイプ) (H441-014)
- フェルティング用マット (H441-015)
- はさみ (先の尖った良く切れるもの) ●定規またはメジャー
- 糸 (レース糸 /20 番手)



フェルティング用ニードルやマットに記載されている注意をよく読み、安全に作業を行ってください。

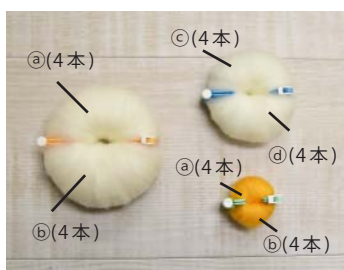
下準備 下記のように材料を取り分けます。

鏡もち



1. ボンボンを作ります。

※別紙「羊毛ボンボン&アクレーヌボンボン 基本の作り方」をあわせてご参照ください。



くるくるボンボン 9cm に白①・②、
7cm に白③・④、3.5cm にオレンジ
①・②を指定分量均一にしっかり巻き
ます。



カットし、糸で結びくるくるボンボン
から外した後、白は手で平らにつぶし
楕円になるようにカットし整えます。
オレンジはまるくカットし整えます。



白大 → 横幅約 9cm 厚み 5cm
白小 → 横幅約 7cm 厚み 4cm
オレンジ → 直径約 3.5cm
のボンボンにします。



白をつなげます。お互いの結び糸を
使用し、1回結びます。



もう1回糸をまわし結びます。



境目を1周ニードルで刺し固定します。

2. みかんを作り仕上げます。



少量の緑を刺しまとめ、葉っぱを作り
オレンジの上部にジョイントします。



葉っぱがついたオレンジを白の上部に
ジョイントして完成です。

作品縮小写真



羊毛ボンボン & アクレーヌボンボンとは？

羊毛またはアクレーヌで作るボンボンです。ふわふわで植毛をしたようなボンボンが作れます。ニードルを使用すれば、幅広い作品作りが楽しめます。

- Point 1 太い羊毛のふさを使うので早く巻けます
- Point 2 羊毛ならではのふわふわでリアルな仕上がり
- Point 3 ニードルで刺し固めやすささまざまなアレンジができます

くるくるボンボンの種類

表記の使用量は目安です。オリジナル作品を作る際の参考にしてください。

おすすめの材料と使用量の目安

キットは作り方テキストに従ってください。

おすすめの材料	くるくるボンボンの種類	直径3.5cm (グリーン)	直径5.5cm (ピンク)	直径7cm (ブルー)	直径9cm (オレンジ)
フェルト羊毛 ソリッド		約15cm	約50cm	約60cm	約120cm
フェルト羊毛 ナチュラルブレンド		約15cm	約50cm	約80cm	約150cm
アクレーヌ®		約10cm	約30cm	約50cm	約100cm

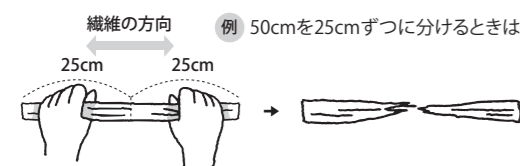
上記以外に必要なもの

- はさみ ●定規またはメジャー ●糸
 - ニードルを使う場合
 - フェルティング用ニードル ●フェルティング用マット
- ※先の尖った良く切れるはさみをご使用ください。 ※糸はレース糸(20番手)がおすすめです。
- ※作品ごとに必要な副資材等は作品のテキストをご覧ください。

羊毛・アクレーヌの取り分け方

分け方 繊維を断断して取り分けるとき

図のように分ける位置を中心として、ゆっくり引き抜くように分けます。



分け方 繊維の方向にそって取り分けるとき

図のように分け目にしたところに指を差し込み、繊維の方向にそってさきます。

例 1/2にさくときは



キットの場合 正確な量に取り分けるため、下記の方法で分けます。

- 繊維を断断して取り分けるとき → ハサミ
 - 繊維の方向に沿って取り分けるとき → 手
- ※切り口は繊維を指でつまんで出しほぐしてください。

フェルティングニードルの使用上のご注意

フェルティングニードルは先端の鋭い専用針です。使用上のご注意を必ずお読みください。

- 一度曲がったニードルは大変折れやすくなっています。無理に使用しないでください。
- 無理な力を加えると先端が折れる場合があります。針先をひねらないように作業をしてください。また、折れた場合の飛散防止になりますので、フェルティング用マットは必ず使用してください。
- ニードルの先端は大変鋭く、作業中は手をきちんと安定させ気を散らさないよう集中してください。くれぐれも手などを刺さないように十分に気をつけて作業してください。
- 指の保護の為、別売の「フェルティングニードル専用指サック」のご使用をお勧めします。

対象年齢 15才以上 ニードルは先端の鋭い専用針です。お子様が作業される場合は、保護者の方が必ずそばに付き添ってください。

- 使用後は、キャップを付け、お子様の手の届かないところに保管してください。
- フェルティング以外の用途には絶対使用しないでください。針先は人に向けてたりせず常に作業物に向けてください。
- ニードルで作った作品は繊細ですので取り扱いには注意しましょう。また、小さなお子様は誤飲の恐れなどがありますので、特にご注意ください。

作業中に作品の中で先端が折れた場合、そのままにしておくと大変危険です。必ず取り出してからご使用ください。

羊毛ボンボン & アクレーヌボンボン 基本の作り方

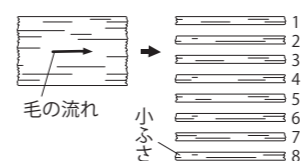
基本の手順

- 下準備 → STEP 1 羊毛またはアクレーヌを巻きます → STEP 2 カットします → STEP 3 結びます → STEP 4 形を整えます

下準備

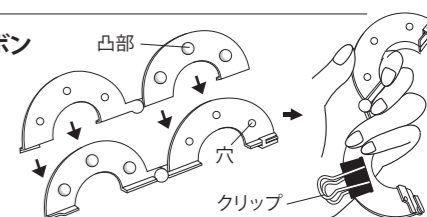
●羊毛またはアクレーヌ

必要量の羊毛を取り分け、1ふさを8等分にさきます。この1/8ふさ(以下「小ふさ」)をくるくるボンボンに巻きつけるときの基本の太さとして。



●くるくるボンボン

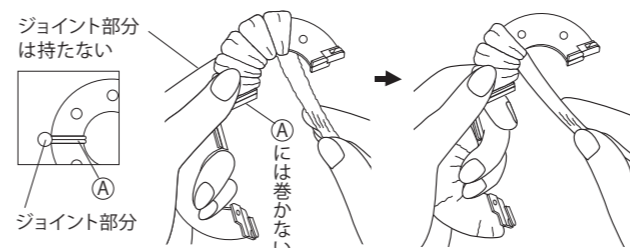
凸部と穴を合わせ、片方の半円をクリップなどで固定します。



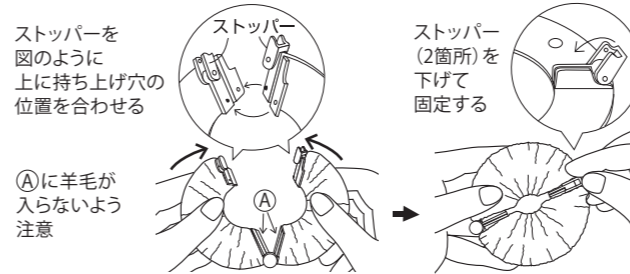
STEP 1

羊毛またはアクレーヌを巻きます。

①半円の端から羊毛を巻きます。半円が巻けたらもう片方の半円も同様にします。



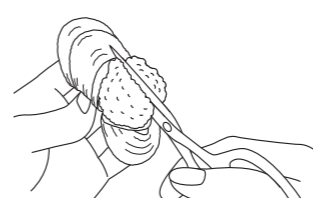
②ボンボン器を円形になるようストッパーで固定します。



STEP 2

カットします。

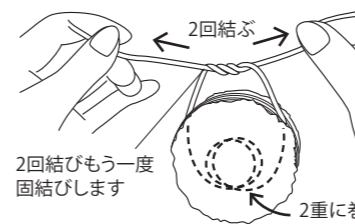
ストッパー部分からボンボン器2枚の間にはさみを入れ、羊毛をカットします。



STEP 3

結びます。

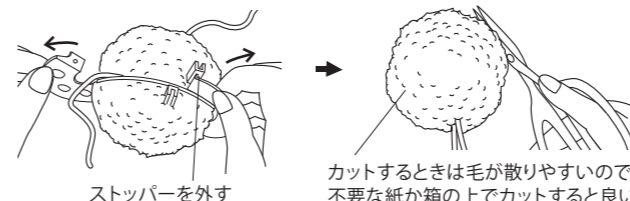
ボンボン器2枚の間に糸を2重に巻き、しっかり結びます。



STEP 4

形を整えます。

ボンボン器を外して、手で軽く整え全体をカットし仕上げます。



■きれいに巻くコツ

しっかり巻き、均一な厚みに

- しっかり巻き始めます。巻き始めが緩いと、全体が緩みやすくなります。
- 隣につめていくように巻きます。小ふさを1本ずつ巻き、巻き終わりはニードルで刺して軽く固定します。続いて次の小ふさを巻き足していきます。
- 端まできっちり詰めて巻きます。端まで詰めて巻くことで、仕上がり時の毛の密度が揃います。
- 端まで巻き終わったら、上に巻き重ねていきます。できるだけ全体が均一な厚みになるよう巻きましょう(※色替えなどで特に厚みに指定がある場合は除く)。羊毛が少なくなってきたら、ふさを薄く広げるなど、厚みのバランスを見ながら巻きます。

巻きすぎると、ストッパーがはまりにくく、器具を傷める場合がありますので、ご注意ください。 ※巻ききれない場合は、無理に巻かず余らせてよい

■色分けのコツ

色の境目をきれいに

- 色ごとに巻きます。色ごとにしっかり巻きつけます。色の境目が混ざりそうなときは、ニードルで刺して整えます。
- 2色以上のときは、巻き面積が小さい色から巻きます。

■きれいに整えるコツ

少しずつ丁寧に

- 丸く仕上げるときは 全体を軽く手で丸めたあと、少しずつカットします。
- 段ができたときは はさみを縦に入れ、刃先を使ってすくようにカットすると目立ちにくくなります。複雑な形にカットする時も同様に、少しずつカットします。

■ニードルで整えるコツ (完成した丸のボンボンからニードルで形を作るとき)

- バランスを見ながらやさしく刺す 羊毛は放射状にふんわり植毛したような状態です。一度に強く刺すと、すぐにくぼんでしまうので、作りたい形になるよう徐々に刺し整えます。